

# 令和2年度 委託研究課題等一覧

生研支援センター  
2020年10月1日現在

事業名	実施課題数
革新的技術開発・緊急展開事業(うち先導プロジェクト)	22
革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)	8
革新的技術開発・緊急展開事業(うち人工知能未来農業創造プロジェクト)	6
生産性革命に向けた革新的技術開発事業	6
スマート農業技術の開発・実証プロジェクト(うち先導研究プロジェクト)	1
イノベーション創出強化研究推進事業	103
イノベーション創出強化研究推進事業(旧農食事業・H29年度以前採択課題)	7
「知」の集積と活用の場による研究開発モデル事業	13
異分野融合発展研究	3
SIP第2期	11
ムーンショット農業研究開発	10

革新的技術開発・緊急展開事業(うち先導プロジェクト)

	分野	研究課題	コンソーシアム名	研究代表機関名	氏名	研究期間
1	畜産・酪農	国産和牛肉の新たな差別化のための評価指標及び育種手法の開発	先導(和牛肉)コンソーシアム	農研機構 畜産研究部門	小林 栄治	2016年度～2020年度
2	畜産・酪農	国際競争力強化に向けた黒毛和種短期肥育技術の開発	先導(短期肥育)コンソーシアム	農研機構 中央農業研究センター	樋口 幹人	2016年度～2020年度
3	畜産・酪農	次世代型ロボットによる視覚・体内から捉える飼養管理高度化システムの開発～搾乳ロボット及びセンシング技術の活用による個体情報高度活用システムの開発に向けて	酪農ビッグデータコンソーシアム	東京理科大学	大和田 勇人	2016年度～2020年度
4	畜産・酪農	国産豚肉差別化のための「おいしさ」の評価指標と育種改良技術及び飼養管理技術の開発	先導(豚肉質改良)	農研機構 畜産研究部門	石井 和雄	2016年度～2020年度
5	園芸	国産果実の新たな需要を喚起する育種素材の創出および加工技術の開発	先導(果樹需要喚起)	農研機構 果樹茶業研究部門	阿部 和幸	2016年度～2020年度
6	園芸	国産果実の供給期間拡大を目指した鮮度保持・栽培技術の開発	先導(果樹供給拡大)コンソーシアム	農研機構 果樹茶業研究部門	立木 美保	2016年度～2020年度
7	園芸	茶における輸出相手国の残留農薬基準値に対応した防除技術の開発	先導(茶輸出対応IPM)コンソーシアム	農研機構 果樹茶業研究部門	山田 憲吾	2016年度～2020年度
8	園芸	海外市場の飛躍的拡大を目指す高品質抹茶の低コスト製造技術およびカフェインレス茶系統の開発	先導(抹茶・カフェレス)コンソーシアム	農研機構 果樹茶業研究部門	荒木 琢也	2016年度～2020年度
9	水田作	米の市場開拓に向けた機能性を賦与した高圧加工米の開発	高圧加工米開発コンソーシアム	信州大学	藤田 智之	2016年度～2020年度
10	水田作	業務用米等の生産コスト低減に向けた超多収系統の開発	業務用米コンソーシアム	農研機構 次世代作物開発研究センター	前田 英郎	2016年度～2020年度
11	水田作	海外遺伝資源等を活用した極多収大豆育種素材の開発	多収大豆コンソーシアム	農研機構 次世代作物開発研究センター	羽鹿 牧太	2016年度～2020年度
12	水田作	DNAマーカー技術を利用した業務用ハイブリッドライスの開発	---	株式会社 水稲生産技術研究所	地主 建志	2016年度～2020年度
13	水田作	畦畔自律走行小型エンジン草刈りロボットの開発	畦畔自律走行草刈りロボット開発共同研究機関	東京大学	芋生 憲司	2016年度～2020年度
14	畑作	北海道畑作で新たに発生が認められた難防除病害虫ジャガイモシロシロストセンチュウおよびビート西部萎黄ウイルスに対する抵抗性品種育成のための先導的技術開発	(先導)バレイショ・テンサイ新規病害虫コンソーシアム	農研機構 北海道農業研究センター	黒田 洋輔	2016年度～2020年度
15	畑作	ジャガイモシロシロストセンチュウ等に対する革新的な新規作用機構の線虫剤開発	(先導プロ)線虫剤開発コンソーシアム	農研機構 北海道農業研究センター	串田 篤彦	2016年度～2020年度
16	畑作	かんしょ直播栽培の実用化に向けた優良系統と省力機械化栽培技術の開発	先導(かんしょ直播)コンソーシアム	農研機構 九州沖縄農業研究センター	境垣内 岳雄	2016年度～2020年度
17	畑作	南西諸島のサトウキビ生産安定化に貢献する育種素材の開発	サトウキビ素材開発コンソーシアム	農研機構 九州沖縄農業研究センター	田村 泰章	2016年度～2020年度
18	水産	水産物の国際競争に打ち勝つ横断的育種技術と新発想飼料の開発	魚介類育種・飼料開発共同研究機関	水産研究・教育機構 増養殖研究所育種研究センター	奥澤 公一	2016年度～2020年度
19	水産	窒素固定能に着目した植物加工残渣由来早期養成飼料の開発	エコカー化コンソーシアム	東京大学	潮 秀樹	2016年度～2020年度
20	林野	要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から建築部材の強度を予測する技術の開発	大径材強度予測共同研究機関	森林研究・整備機構 森林総合研究所	小林 功	2016年度～2020年度
21	林野	ICT技術やロボット技術を活用した高度木材生産機械の開発	高度木材生産機械開発共同事業機関	森林研究・整備機構 森林総合研究所	上村 巧	2016年度～2020年度
22	林野	造林作業の負担軽減のための林業用アシストスーツの研究開発	林業用アシストスーツ研究開発コンソーシアム	住友林業株式会社	寺澤 健治	2016年度～2020年度

革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)

	分野	研究課題	コンソーシアム名	研究代表機関名	氏名	研究期間
1	水田作	生産性・収益性向上を実現する長時間航行ドローン等開発研究計画	生産性・収益性向上を実現する長時間航行ドローン等開発研究コンソーシアム	SBテクノロジー株式会社	上原 郁磨	2018年度～2020年度
2	水田作	国産米の競争力強化に向けた近未来型水稲直播栽培技術の確立	国産米の国際競争力強化コンソーシアム	石川県農林総合研究センター農業試験場	永晶 秀樹	2018年度～2020年度
3	水田作	包装米飯及び高圧加工コンポートの流通期間延長技術の開発	経営体(流通期間延長)コンソーシアム	農研機構 食品研究部門	山本 和貴	2018年度～2020年度
4	野菜・花き	高温環境等を克服して日本品質を周年安定生産	経営体(環境克服生産)コンソーシアム	農研機構 野菜花き研究部門	中野 有加	2018年度～2020年度
5	畜産	独自発酵技術による日本オリジナル・ナチュラルチーズの開発	日本オリジナルチーズ開発コンソーシアム	日本獣医生命科学大学	佐藤 薫	2018年度～2020年度
6	畜産	食肉衛生検査データの豚慢性疾病対策への活用とベンチマーキングシステム(PigINFO)を利用した対策の経済評価	経営体(豚慢性疾病対策)コンソーシアム	農研機構 動物衛生研究部門	山根 逸郎	2018年度～2020年度
7	畜産	気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発	経営体(気象リスク飼料)コンソーシアム	農研機構 畜産研究部門	奥村 健治	2018年度～2020年度
8	林業	原材料の安定供給による構造用集成材の低コスト化技術の開発	地域材利用木製品普及コンソーシアム	森林研究・整備機構森林総合研究所	宮武 敦	2018年度～2020年度

革新的技術開発・緊急展開事業(うち人工知能未来農業創造プロジェクト)

	分野	研究課題	コンソーシアム名	研究代表機関名	氏名	研究期間
1	畜産・酪農	AIやICTを活用した周年親子放牧による収益性の高い子牛生産技術の開発	AI(周年親子放牧)コンソーシアム	農研機構 畜産研究部門	井出 保行	2017年度～2020年度
2	畜産・酪農	乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発	AI(泌乳平準化)コンソーシアム	農研機構 北海道農業研究センター	田鎖 直澄	2017年度～2020年度
3	畜産・酪農	AI(人工知能)を活用した牧草生産の省力化・自動化技術の開発	AI(省力牧草生産)コンソーシアム	農研機構 北海道農業研究センター	須藤 賢司	2017年度～2020年度
4	園芸	AIとRTを活用した施設野菜収穫における労働ピーク削減化技術の開発	野菜RT&ICT利用コンソーシアム	バナソニック株式会社	松本 敏宏	2017年度～2020年度
5	園芸	露地野菜の集荷までのロボット化・自動化による省力体系の構築	露地野菜生産ロボット化コンソーシアム	立命館大学	深尾 隆則	2017年度～2020年度
6	園芸	果実生産の大幅な省力化に向けた作業用機械の自動化・ロボット化と機械化樹形の開発	AI(機械化樹形)コンソーシアム	農研機構 果樹茶業研究部門	草場 新之助	2017年度～2020年度

生産性革命に向けた革新的技術開発事業

	分野	研究課題	コンソーシアム名	研究代表機関名	氏名	研究期間
1	水田作	ドローン等を活用した作物生育の診断技術及び作付・栽培管理最適化システムの開発	生産革命(作付・栽培管理)コンソーシアム	農研機構 中央農業研究センター	坂井真	2018年度～2020年度
2	水田作	ICTを活用した用水需要観測と水理解析モデルによる配水計画手法の開発	生産革命(次世代配水計画)コンソーシアム	農研機構 農村工学研究部門	友正達美	2018年度～2020年度
3	畜産	人工知能(AI)技術を活用した繁殖率を高める栄養状態の評価・最適化技術の確立	AIの活用による繁殖性向上実証コンソーシアム	東京理科大学	相川直幸	2018年度～2020年度
4	林業	作業道の情報化施工に関する実証研究	情報化施工コンソーシアム	森林研究・整備機構 森林総合研究所	鈴木秀典	2018年度～2020年度
5	鳥獣害	スマート捕獲・スマートジビエ技術の確立	被害対策に資する捕獲・利活用推進コンソーシアム	長崎県農林部農山村対策室	井手宏和	2018年度～2020年度
6	水産業	センシング技術・ICTによる漁獲物選別および加工の省力化・見える化技術の開発	「センシング技術・ICTによる漁獲物選別および加工の省力化・見える化技術の開発」共同研究機関	水産研究・教育機構 水産技術研究所	木宮隆	2018年度～2020年度

スマート農業技術の開発・実証プロジェクト(うち先導研究プロジェクト)

	分野	研究課題	コンソーシアム名	研究代表機関名	氏名	研究期間
1		食品製造業における効率的な設備管理技術の開発	製造システム生産性向上コンソーシアム	一般社団法人日本植物油協会	水野 毅	2019年度～2020年度

イノベーション創出強化研究推進事業 令和2年度採択課題一覧

研究 ステージ	研究課題	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間	
			所属	氏名		
1	基礎	AI画像認識による幼生同定技術の開発と幼生輸送予測によるマガキ養殖業の効率化・安定化	AI画像幼生同定コンソーシアム	国立研究開発法人水産研究・教育機構	寛 茂穂	令和2年度～4年度
2	基礎	中性園芸作物リンドウの開花制御基盤技術の開発	リンドウ開花制御基盤技術開発コンソーシアム	公益財団法人岩手生物工学研究センター	西原 昌宏	令和2年度～4年度
3	基礎	難防除ウリ科ウイルス病克服へ向けた植物ワクチンの開発	イノベ事業02003Aコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	富高 保弘	令和2年度～4年度
4	基礎	群飼育下の乳用雌哺乳牛から体調不良個体を早期検出するリアルタイムモニタリング技術の開発	体調不良哺乳牛の早期発見技術開発コンソーシアム	国立大学法人北海道大学	上田 宏一郎	令和2年度～4年度
5	基礎	完全養殖マサバの生産拡大と海外輸出のための戦略的育種・生産基盤の開発	完全養殖マサバ生産拡大コンソーシアム	国立大学法人九州大学	松山 倫也	令和2年度～4年度
6	基礎	害虫防除と受粉促進のダブル効果！スマート農業に貢献する振動技術の開発	振動農業技術コンソーシアム	国立大学法人電気通信大学	小池 卓二	令和2年度～4年度
7	基礎	ナノ粒子を用いた農業送達システムによる革新的植物免疫プライミング技術の開発	植物免疫プライミングコンソーシアム	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	吉岡 博文	令和2年度～4年度
8	応用	チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	チルド米飯向け超多収低アミロース米開発コンソーシアム	岩手県農業研究センター	小館 琢磨	令和2年度～4年度
9	応用	クルマエビの耐病性品種の育成と管理に関する技術開発	クルマエビ耐病性品種開発共同研究機関	国立研究開発法人水産研究・教育機構	菅谷 琢磨	令和2年度～4年度
10	応用	高精度フェノタイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立	培地レスフェノイチゴ	国立大学法人豊橋技術科学大学	高山 弘太郎	令和2年度～4年度
11	応用	植木、盆栽及び苗木の輸出に不可欠な植物寄生性線虫の除去及びそれに伴う商品価値の低下に関する対策技術の高度化	イノベ事業02011Bコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	立石 靖	令和2年度～4年度
12	応用	地下水位の潮汐応答解析と地下水年代測定による地下ダム止水壁の機能評価技術の開発	イノベ事業02012Bコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	石田 聡	令和2年度～4年度
13	応用	国産のつる性薬用樹木カギカズラの生産技術の開発と機能性解明に基づく未利用資源の活用	カギカズラ栽培から利用までコンソーシアム	国立研究開発法人森林研究・整備機構	谷口 亨	令和2年度～4年度
14	応用	革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発-次世代型土壌ICTの開発に向けて-	イノベ事業02014Bコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	高田 裕介	令和2年度～4年度
15	応用	世界初の高度複合病害抵抗性メロン品種の開発と次世代型育種基盤の開発	イノベ事業02015Bコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	川頭 洋一	令和2年度～4年度
16	応用	天然アシルスペルミジンを基盤とする新規病害抵抗性誘導物質の応用展開	新規病害抵抗性誘導剤コンソーシアム	国立大学法人東京大学	浅見 忠男	令和2年度～4年度
17	応用	低価格・高精度・高速食品原料外観・内部AI検査装置の研究開発	『原料・食品の安全・安心』コンソーシアム	キューピー株式会社	荻野 武	令和2年度～4年度
18	応用	新たな農資源ゲットウを利用した新規抗植物ウイルス剤の創製	月桃コンソーシアム	岡山県農林水産総合センター	畑中 唯史	令和2年度～4年度
19	開発	世界初の制虫技術の確立！害虫忌避力評価システムに基づき野菜・花き類の地上部・地下部を同時に防除	イノベ事業02018Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	櫻井 民人	令和2年度～4年度
20	開発	アスパラガス生産に働き方改革を！改植技術「枠板式高畝栽培」を基盤とした省力安定栽培システムの開発	イノベ事業02019Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	柳井 洋介	令和2年度～6年度
21	開発	サケマス類の日本式海面養殖技術の研究開発	サケマス養殖技術共同研究コンソーシアム	福井中央魚市株式会社	三木 謙	令和2年度～6年度
22	開発	無核性カンキツ新品種「瑞季」等の全国展開に向けた高品質安定生産及び高度利用技術の確立	無核性カンキツ新品種の高品質化および高度利用促進コンソーシアム	国立大学法人京都大学	中野 龍平	令和2年度～6年度
23	開発	有害元素(放射性セシウム、カドミウム)低蓄積原木シイタケ品種の開発	有害元素低蓄積原木シイタケ開発コンソーシアム	一般財団法人日本きのこセンター	寺島 和寿	令和2年度～6年度
24	開発	儲かる業務用米生産を実現する無コーティング種子湛水直播技術の確立	イノベ事業02023Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	白土 宏之	令和2年度～4年度
25	開発	持続的なサトウキビ生産を可能とする連続株出し多収品種と次世代型機械化一貫栽培技術の開発	イノベ事業02024Cサトウキビ育種コンソーシアム	沖縄県農業研究センター	内藤 孝	令和2年度～6年度
26	開発	米粉を使用した嚙下障害者のための嚙下食の開発	「米粉でやさしい嚙下食」コンソーシアム	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	藤谷 順子	令和2年度～4年度
27	開発	加工業務用ブロッコリーの国産化を実現する大型花蕾生産技術と加工流通体系の確立	イノベ事業02026Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	佐々木 英和	令和2年度～4年度
28	開発	ツマジロクサヨトウの効率的な発生予察技術と防除対策技術の開発	イノベ事業02027Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	園田 亮一	令和2年度～4年度
29	開発	微生物殺虫・殺菌剤を用いた野菜重要病害虫のデュアルコントロール技術の確立	イノベ事業02028Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	窪田 昌春	令和2年度～4年度
30	開発	センシングおよびシミュレーション技術を活用した果菜類の栽培支援ネットワークサービスの社会実装	農食事業29011Bコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	磯崎 真英	令和2年度～4年度
31	開発 (緊急)	スクミンゴガイの被害撲滅に向けた防除技術の開発のための緊急研究	イノベ事業02029Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	柴 卓也	令和2年度

イノベーション創出強化研究推進事業 令和元年度採択課題一覧

研究ステージ	研究計画名	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間	
			所属	氏名		
1	基礎	遠縁イネ科栽培植物のいもち病抵抗性遺伝資源としての相互利用法の開発	コムギいもち病抵抗性育種コンソーシアム	国立大学法人 神戸大学	土佐 幸雄	令和元年度～3年度
2	基礎	豚抗病性改善指標のin vitro評価系の創出	豚抗病性改善指標のin vitro評価系の創出コンソーシアム	国立大学法人 東北大学	北澤 春樹	令和元年度～3年度
3	基礎	AIによる最適操業と漁獲データの自動収集を目的とした基盤技術の創出	「AIによる最適操業と漁獲データ収集技術の創出」共同研究機関	国立研究開発法人水産研究・教育機構	松本 浩文	令和元年度～3年度
4	基礎	グリーンング病の侵入を防ぐ環境情報駆動型スマート調査技術	イノベ事業01004Aコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	藤原 和樹	令和元年度～3年度
5	基礎	近傍保存配列CNSのゲノム編集による作物遺伝子発現の精密調整基盤の開発	イノベ事業CNS編集コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	吉田 均	令和元年度～3年度
6	基礎	多重変異蓄積による実用的ステイグリーン葉野菜の開発	ステイグリーンコンソーシアム	国立大学法人 広島大学	草場 信	令和元年度～3年度
7	基礎	世界初！樹(き)から造る「木の酒」の開発	-	国立研究開発法人森林研究・整備機構	野尻 昌信	令和元年度～3年度
8	基礎	ゲノム編集等の育種技術を用いた『グルテン形成』大麦の作出	-	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	池田 達哉	令和元年度～3年度
9	応用	光周期を利用して成熟を抑制し生産性を飛躍させる魚介類養殖手法の開発	「光周期利用魚介類養殖」共同研究機関	国立研究開発法人水産研究・教育機構	鷗沼 辰哉	令和元年度～3年度
10	応用	米飯粒としての糖質消化性をコントロールできるコメの革新的収穫後調整・加工技術の開発	米飯の糖質消化性制御法開発コンソーシアム	国立大学法人 千葉大学	小川 幸春	令和元年度～3年度
11	応用	北海道の製糖産業を支えるテンサイ直播適性の解明と選抜実証	イノベ事業テンサイ直播適性研究コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	松平 洋明	令和元年度～3年度
12	応用	先端ゲノム育種技術を活用したダイズ野生種の新規黒根腐病抵抗性遺伝子座の同定とDNAマーカー開発	イノベ事業ダイズ黒根腐病コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	田口 文緒	令和元年度～3年度
13	応用	スマの肉質高品質化に向けた高度飼育・出荷技術開発	高品質スマコンソーシアム	国立大学法人 愛媛大学	後藤 理恵	令和元年度～3年度
14	応用	未利用・低価値国産材を原料とする高付加価値素材生産・利用システムの構築	地域バイオマスの成分分離による高付加価値素材生産プロセスの開発コンソーシアム	国立研究開発法人森林研究・整備機構	久保 智史	令和元年度～3年度
15	応用	キク生産における芽摘み作業の省力化技術の開発	キク生産における芽つみ作業省力化開発コンソーシアム	イノチオアグリ株式会社	石黒 康平	令和元年度～3年度
16	応用	スマート技術を活用した乳肉牛のアニマルウェルフェア対応型の飼育技術の開発	アニマルウェルフェア飼育技術(牛)コンソーシアム	国立大学法人 信州大学	竹田 謙一	令和元年度～3年度
17	応用	養殖魚の育種効率化に向けたゲノム育種法の実践と普及	魚類ゲノム育種技術開発コンソーシアム	国立大学法人 東京大学	細谷 将	令和元年度～3年度
18	応用	低減・欠失型アレルゲンソバ素材の開発およびその有効性の検証	イノベ事業ソバアレルゲン性改良コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	原 尚資	令和元年度～3年度
19	応用	画期的機能を持つ接ぎ木システムの実用化と接ぎ木効率を向上させる接ぎ木促進剤の開発	「画期的機能を持つ接ぎ木システムの実用化と接ぎ木効率を向上させる接ぎ木促進剤の開発」共同研究機関	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	白武 勝裕	令和元年度～3年度
20	応用	天然物を活用した作物病害防除とかび毒汚染制御	天然物を活用した作物病害防除の研究開発プラットフォーム	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	木村 真	令和元年度～3年度
21	応用	活性汚泥処理の最適化と新規窒素除去反応アナモックスの利用による畜産廃水処理技術の高度化	農業事業28008Aコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	和木 美代子	令和元年度～3年度
22	開発	和菓子文化を支える小豆の省力・安定生産に向けたコンパイン収穫適性に優れた品種開発	イノベ小豆品種開発01019Cコンソーシアム	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	奥山 昌隆	令和元年度～5年度
23	開発	産地崩壊の危機を回避するためのかんしよ病害防除技術の開発	イノベ事業01020Cコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	小林 有紀	令和元年度～3年度
24	開発	AIやIoTによる、人材育成も可能なスマート獣害対策の技術開発と、多様なモデル地区による地域への適合性実証研究	スマート獣害対策技術の開発と、地域への適合性実証研究コンソーシアム	公立大学法人 兵庫県立大学	山端 直人	令和元年度～3年度
25	開発	健全種ばれいしよ生産を達成するジャガイモ黒あし病発病リスク回避技術の確立	イノベ事業黒あし病対策コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	藤本 岳人	令和元年度～3年度
26	開発	良食味新品種「Qなっつ」を軸とした、落花生生産体系の高度化	Qなっつコンソーシアム	千葉県農林総合研究センター	桑田 主税	令和元年度～3年度
27	開発	侵入シストセンチュウ類緊急防除後の営農再開・再発防止支援技術の開発	イノベ事業シストセンチュウコンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	岡田 浩明	令和元年度～3年度
28	開発	各種用途に対応したパインアップル品種開発および育種技術の確立	イノベ事業01025C パイン育種コンソーシアム	沖縄県農業研究センター	竹内 誠人	令和元年度～5年度
29	開発	超高齢化社会対応と輸出促進のための認知症・糖尿病複合予防効果のある米加工食品の開発	複合機能性米加工食品開発コンソーシアム	新潟薬科大学	大坪 研一	令和元年度～3年度
30	開発	和食ブランドを支える味噌・醤油の輸出力向上を目指した高機能性・多収大豆品種の開発	イノベ大豆品種開発01027Cコンソーシアム	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	藤田 正平	令和元年度～5年度
31	開発	雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立	短稈・多収アワ品種育成コンソーシアム	岩手県農業研究センター	菅 広和	令和元年度～4年度
32	開発	畑作の省力化に資する生分解性プラスチック分解酵素の製造技術と生分解性農業資材利用技術の高度化	イノベ事業生プラ2コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	北本 宏子	令和元年度～5年度
33	開発	輸入花粉に依存しない国産花粉の安定供給システムの開発	花粉採取技術開発コンソーシアム	国立大学法人 鳥取大学	竹村 圭弘	令和元年度～3年度
34	開発	クロマグロの資源回復と定置網漁業の生産性向上を同時に実現する漁獲コントロール技術の開発	クロマグロ漁獲コントロール技術研究開発コンソーシアム	国立大学法人 東京海洋大学	秋山 清二	令和元年度～3年度

35	開発	成長に優れた無花粉スギ苗を短期間で作出・普及する技術の開発	無花粉スギ苗の普及までの期間短縮に向けた研究 開発コンソーシアム	国立大学法人 新潟大学	森口 喜成	令和元年度～3年度
----	----	-------------------------------	-------------------------------------	-------------	-------	-----------

イノベーション創出強化研究推進事業 平成30年度採択課題一覧

研究 ステージ	研究計画名	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間	
			所属	氏名		
1	基礎	稔性回復遺伝子の複対立性を利用した環境誘導可能な雄性不稔の創出	雄性不稔性創出コンソーシアム	国立大学法人 北海道大学	久保 友彦	平成30年度～令和2年度
2	基礎	そば需要拡大のための「デンブン改変そば」の系統開発と評価	イノベ事業2018ソバデンブンコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	鈴木 達郎	平成30年度～令和2年度
3	基礎	降雨耐性大麦品種育成に資する技術開発	降雨耐性大麦品種育成に資する技術開発コンソーシアム	福岡県農林業総合試験場	甲斐 浩臣	平成30年度～令和2年度
4	基礎	トルコギョウ立枯病害因子の探索と比較ゲノム解析を利用した抵抗性遺伝子座の同定	イノベ事業トルコ立枯病害コンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	川勝 恭子	平成30年度～令和2年度
5	基礎	マダコ養殖の事業化に向けた基盤技術の開発	マダコ養殖技術の開発共同研究機関	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	崎山 一孝	平成30年度～令和2年度
6	基礎	ジャガイモシロシストセンチュウ土壌調査のためのハヤブサ型ドローンの開発	イノベ事業ハヤブサ型ドローンコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	奈良部 孝	平成30年度～令和2年度
7	基礎	ゲノム改変によるウイルス抵抗性作物創出に向けた基礎研究	イノベ事業抗ウイルス病コンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	石川 雅之	平成30年度～令和2年度
8	基礎	害虫内部の必須共生機能を標的とした低環境負荷型防除資材の開発	共生阻害防除資材開発コンソーシアム	国立大学法人 富山大学	土田 努	平成30年度～令和2年度
9	基礎	プロモーターゲノム編集技術の化学生物学的イノベーションによる主要作物の種子収量増産に関する開発研究	化学生物学ゲノム編集コンソーシアム	国立大学法人 京都大学	中野 雄司	平成30年度～令和2年度
10	基礎	細胞質雄性不稔性の利用によるトマトの効率的なF1採種システムの構築	トマトCMS採種システムの確立コンソーシアム	国立大学法人 筑波大学	有泉 亨	平成30年度～令和2年度
11	基礎	大麦と病原ウイルスの遺伝子対遺伝子対応迅速検定法の確立とその利用法の開発	ムギウイルスベクター共同研究機関	国立大学法人 宇都宮大学	西川 尚志	平成30年度～令和2年度
12	応用	農耕地からの一酸化二窒素ガス発生を削減し作物の増収・減農薬を実現する革新的微生物資材の開発	環境調和型農業生物資材コンソーシアム	国立大学法人 東京大学	妹尾 啓史	平成30年度～令和2年度
13	応用	土壌病害抑制機能を有する微生物と植物によるダイズ土壌伝染性病防除技術の確立	ダイズ土壌病害抑制技術コンソーシアム	公立大学法人 秋田県立大学	佐藤 孝	平成30年度～令和2年度
14	応用	AI技術を活用した森林施業集約化のための効率的調査技術の開発	石川県森林・林業画像認識AI研究開発コンソーシアム	石川県農林総合研究センター	矢田 豊	平成30年度～令和2年度
15	応用	フリー配偶体の活用とサポート技術によるワカメ養殖のレジリエンス強化と生産性革命	ワカメ養殖共同研究機関	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	吉田 吾郎	平成30年度～令和2年度
16	応用	ウナギの雌化と食味に優れた大型雌ウナギの生産技術の確立	大型雌ウナギによる新規市場開拓コンソーシアム	愛知県水産試験場	稲葉 博之	平成30年度～令和2年度
17	応用	機能性アミノ酸高含有酵母の育種技術を活用した発酵・醸造食品の高付加価値化および海外ブランド化	アミノ酸高含有酵母の育種技術コンソーシアム	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	高木 博史	平成30年度～令和2年度
18	応用	作業分散・規模拡大のための超省力初冬播き水稲栽培法の確立	初冬播きコンソーシアム	国立大学法人 岩手大学	下野 裕之	平成30年度～令和2年度
19	応用	省力化を担保した丈夫な乳用後継牛を育成する高度哺育プログラムの開発	高度哺育プログラム開発コンソーシアム	国立大学法人 広島大学	杉野 利久	平成30年度～令和2年度
20	応用	日本発！種子イチゴ苗を1/3の価格で提供してイチゴ生産を180度転換～ゲノム情報を活用した雄性不稔利用種子イチゴ品種開発	雄性不稔利用種子イチゴ開発コンソーシアム	福岡県農林業総合試験場	和田 卓也	平成30年度～令和2年度
21	応用	生産方式大転換！低紫外線下でも着色優良な単為結果性ナス新品種育種技術の開発	低紫外線ナス育種技術開発コンソーシアム	福岡県農林業総合試験場	下村 克己	平成30年度～令和2年度
22	応用	新育種技術によるアクリルアミド前駆体低濃度の加工用及び用途拡大でん粉原料用のパレイショ品種の開発	新育種技術によるパレイショ品種の開発共同研究機関	国立大学法人 弘前大学	赤田 辰治	平成30年度～令和2年度
23	応用	水稲の収量等の重要形質遺伝子間並びに遺伝子-環境間相互作用の解明とゲノム育種による超多収系統の育成	水稲ゲノム育種による安定・超多収系統の育成コンソーシアム	公益財団法人 岩手生物工学研究センター	阿部 陽	平成30年度～令和2年度
24	開発	サクラ・モモ・ウメ等バラ科樹木を加害する外来種クビアカツヤカミキリの防除法の開発	クビアカツヤカミキリコンソーシアム	国立研究開発法人 森林研究・整備機構	加賀谷 悦子	平成30年度～令和3年度
25	開発	世界初のアスパラガス茎枯病抵抗性品種育成と世界標準品種化への育種技術開発	イノベ事業2018茎枯病抵抗性コンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	渡辺 慎一	平成30年度～令和4年度
26	開発	地場種苗・健康診断・経営戦略でピンチをチャンスにかえるマガキ養殖システムの確立	「マガキ養殖システム」共同研究機関	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	長谷川 夏樹	平成30年度～令和2年度
27	開発	先端ゲノム育種によるカドミウム低吸収性イネ品種の早期拡大と対応する土壌管理技術の確立	イノベ事業カドミ低吸収性稲拡大コンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	片寄 裕一	平成30年度～令和4年度
28	開発	傾斜地における安全作業をサポートする電動式・移動式作業台車兼運搬車の開発	電動運搬車共同研究機関	三晃精機株式会社	笹岡 元信	平成30年度～令和2年度
29	開発	用土をいれない空中さし木法による、コスト3割削減で2倍の生産量を実現するスギさし木苗生産方法の確立	空中さし木共同研究機関	国立研究開発法人 森林研究・整備機構	栗田 学	平成30年度～令和2年度
30	開発	高度病害抵抗性アブラナ科野菜品種の育成	病害抵抗性アブラナ科品種開発コンソーシアム	国立大学法人 神戸大学	藤本 龍	平成30年度～令和4年度
31	開発	うどんこ病抵抗性と密植栽培適性を兼ね備え施設栽培に適したダリア切り花用品種の育成	施設栽培向けダリア切り花用次世代型品種の育成コンソーシアム	国立大学法人 千葉大学	三吉 一光	平成30年度～令和4年度
32	開発	次世代シーケンシング技術を用いた食用きのこ品種のDNA鑑定技術開発	きのこ品種DNA鑑定技術開発コンソーシアム	国立大学法人 東北大学	陶山 佳久	平成30年度～令和2年度
33	開発	薬用にも使える高品質ハトムギ品種の開発と高度利用	イノベ事業はとむぎコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	高田 明子	平成30年度～令和4年度
34	開発	施設園芸の主要病害発生予測AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	AI病害発生予測コンソーシアム	公立大学法人 秋田県立大学	古屋 廣光	平成30年度～令和4年度

35	開発	木材強度と成長性に優れた早生樹「コウヨウザン」の優良育苗生産技術の開発	コウヨウザン共同研究機関	国立研究開発法人 森林研究・整備機構	生方 正俊	平成30年度～令和2年度
36	開発	バイオスティミュラントを活用した革新的作物保護技術の実用化	バイオスティミュラントコンソーシアム	国立大学法人 京都大学	高野 義孝	平成30年度～令和2年度
37	開発	和牛のゲノムデータベースと地域サンプルを活用した生産阻害因子解明のための解析プラットフォームの構築	和牛生産阻害因子解明コンソーシアム	公益社団法人 畜産技術協会	杉本 喜憲	平成30年度～令和2年度

#### イノベーション創出強化研究推進事業(旧農食事業・H29年度以前採択課題)

	研究 ステージ	研究計画名	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間
				所属	氏名	
1	開発	マーカー利用選抜による気候変動に適応した菌床栽培用シイタケ品種の開発	シイタケ品種共同研究機関	国立研究開発法人 森林研究・整備機構	宮崎 和弘	平成30年度～令和2年度
2	開発	実需者ニーズに応じた加工適性と栽培特性を持つ暖地・温暖地向けパン用小麦品種の開発	農食事業28035Cコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	中村 和弘	平成30年度～令和2年度
3	開発	無花粉および葉枯病耐性テッポウユリ類の新品種育成	テッポウユリ類新品種育成コンソーシアム	国立大学法人 新潟大学	岡崎 桂一	平成30年度～令和2年度
4	開発	新たな醸造特性を持った、北海道向けの高品質ビール大麦品種の開発と安定・多収栽培法の確立	北海道向けビール大麦品種開発コンソーシアム	サッポロビール株式会社	保木 健宏	平成30年度～令和2年度
5	開発	自給飼料の生産拡大と周年安定供給に資する家畜嗜好性の高い粗飼料用大麦品種の開発	農食事業29027Cコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	平 将人	平成30年度～令和3年度
6	開発	高品質・多収なでん粉原料用カンショ品種の育成	農食事業29028Cコンソーシアム	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	小林 晃	平成30年度～令和3年度
7	開発	野生種イヌビワとの種間交雑体を利用したイチジク株枯病抵抗性台木新品種の開発	イチジク株枯病抵抗性台木開発コンソーシアム	広島県立総合技術研究所	軸丸 祥大	平成30年度～令和3年度

令和2年度「知」の集積と活用による研究開発モデル事業

	研究課題	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間
			所属	氏名	
1	森林資源を有効活用した革新的新素材の創成と応用の開拓	アドバンスバイオカーボンコンソーシアム	国立大学法人信州大学	遠藤 守信	平成28年度～令和2年度
2	複合部材を活用した中層・大規模ツーバイフォー建築の拡大による林業の成長産業化	中層・大規模ツーバイフォー建築コンソーシアム	国立研究開発法人森林研究・整備機構	洪沢 龍也	平成28年度～令和2年度
3	高付加価値日本食の開発とそのグローバル展開	高付加価値日本食の開発とそのグローバル展開コンソーシアム	国立大学法人東北大学 (未来科学技術共同研究センター)	宮澤 陽夫	平成28年度～令和2年度
4	農林水産・食品産業の情報化と生産システムの革新を推進するアジアモンスーンモデル植物工場システムの開発	アジアモンスーンPFSコンソーシアム	三菱ケミカル株式会社	吉田 重信	平成28年度～令和2年度
5	機能性野菜を用いた腸内フローラ解析による生体恒常性維持効果の実証研究	機能性野菜を用いた腸内フローラ解析コンソーシアム	京都府公立大学法人京都府立医科大学	内藤 裕二	平成28年度～令和2年度
6	革新的技術を集約した次世代型閉鎖循環式陸上養殖生産システムの開発と日本固有種サクラマス類の最高級ブランドの創出	陸上養殖による輸出競争力を持つ新たな国産ブランド魚の開発コンソーシアム	マルハニチロ株式会社	椎名 康彦	平成28年度～令和2年度
7	アミノ酸の代謝制御性シグナルを利用した高品質食肉の研究開発とそのグローバル展開	代謝制御性アミノ酸シグナルを利用した高品質食肉開発コンソーシアム	国立大学法人東京大学	高橋 伸一郎	平成28年度～令和2年度
8	過冷却促進技術による農産物の革新的保存・流通技術の開発	過冷却促進技術による農産物の保存・流通技術研究開発コンソーシアム	学校法人 関西大学	長岡 康夫	平成29年度～令和2年度
9	高付加価値野菜品種ごとに適した栽培条件を作出できるAI-ロボット温室の開発	高付加価値野菜品種利用促進のためのAI-ロボット温室開発コンソーシアム	国立大学法人 筑波大学	江面 浩	平成29年度～令和2年度
10	海鞘(ホヤ)プラズマローゲンの機能性食品への応用研究	確かな分析技術と科学的根拠が支える機能性表示食品研究開発コンソーシアム	国立大学法人 東北大学	仲川 清隆	平成29年度～令和2年度
11	低価格農業を実現する革新的生産プロセスの開発	超効率的有機合成を駆使した農業製造プロセスに関する研究コンソーシアム	日産化学株式会社	田中 規生	平成29年度～令和2年度
12	大規模沖合養殖システム実用化研究	大規模沖合養殖システム実用化コンソーシアム	日鉄エンジニアリング株式会社	狩谷 卓郎	平成29年度～令和2年度
13	脳機能改善作用を有する機能性食品開発	脳機能改善食品開発コンソーシアム	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門	小堀 真珠子	平成29年度～令和2年度

令和2年度 異分野融合発展研究

	研究課題	コンソーシアム名	研究統括者		研究期間
			所属	氏名	
1	ナノナノ複合体の活用による次世代施設園芸の生産性向上	ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム	国立大学法人信州大学	野口 徹	平成29年度～令和3年度
2	廃菌床由来キチン/セルロースナノファイバーを活用した高機能性農業資材の開発	廃菌床由来ナノファイバーの研究開発コンソーシアム	国立大学法人鳥取大学	伊福 伸介	平成29年度～令和3年度
3	高機能性セルロースナノファイバー(CNF)・カーボンナノチューブ(CNT)複合構造体の開発および低温型遠赤外線乾燥システム等への応用	CNF・CNT融合 & 食品低温乾燥応用コンソーシアム	国立大学法人東京大学	坂田 一郎	平成29年度～令和3年度

SIP2期

事業名	プログラムディレクター	概要	管理法人	実施期間
スマートバイオ産業・農業基盤技術	小林憲明 キリンホールディングス(株) 取締役常務 執行役員	食の持続性(サステナビリティ)をテーマに、①農業、②食材・食品、③「食」関連資源・環境、のサステナビリティを統合的に実現するために必要となる「食」関連研究開発データ・情報の利活用基盤の構築を図るとともに、供給側と需要側のシーズ、ニーズのマッチングにより、農業経営効率の向上、フードロス・フードウェイストの削減などを旨とする「スマートフードシステム」というモデル事例を示す	生物系特定産業技術 研究支援センター(生 研支援センター)	2018年度～

MS(ムーンショット)

事業名	プログラムディレクター	概要	管理法人	実施期間
ムーンショット型農林水産研究開発事業	千葉 一裕 国立大学法人 東京農工大学学長	「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の実現に向けた研究開発を推進	生物系特定産業技術 研究支援センター(生 研支援センター)	2020年度～